

4. 利用促進について

広域的な交通を担う鉄道等へアクセスできる面的な交通ネットワークを機能させるため、再編方針4「路線バス等を、わかりやすく、利用しやすくする」に基づき、上越市総合公共交通計画に位置づけられた「運賃制度の見直し」「乗り継ぎ環境の改善」「予約方法の改善」「分かりやすい情報提供の充実」「モビリティ・マネジメントの実施」に関する利用促進に取り組む。

▼上越市総合公共交通計画に位置づけられた施策一覧

目的	施策
1) 運行の改善	a) 路線網の見直し
	b) 新たな公共交通システム導入の検討
	c) ダイヤの見直し
	d) 運賃制度の見直し
	e) 停留所・駅の見直し
	f) 車両の見直し
2) 利用環境の改善	a) 乗り継ぎ環境の改善
	b) 予約方法の改善
	c) 分かりやすい情報提供の充実
3) 市民の意識醸成	a) モビリティ・マネジメントの実施
	b) 利用促進策の企画・実施
4) 市民・行政・公共交通事業者等の協働	a) 関係機関による検討会
	b) PDCAサイクルによる評価・改善の実施

(1) 全市で取り組む利用促進

No	利用促進策	概要	総合公共交通計画における施策
1	おでかけフリー定期券	70歳以上の高齢者や運転免許返納者を対象とした、市内の路線バスが乗り放題となる定期券を販売する。 また、自家用有償旅客運送でも使用できるように検討する。	運賃制度の見直し
2	1日フリー乗車券の車内販売	長距離を移動する場合にお得なサービスとして、1日フリー乗車券(1,000円)をバス案内所で販売しているものを、車内で販売できるように工夫する。(他地域で行われている上限運賃500円に相当) また、自家用有償旅客運送でも使用できるように検討する。	運賃制度の見直し
3	小中高生の夏休み特別運賃の実施	夏休み期間中は利用者が減少することから、学生証の提示等により、小学生は1乗車50円、中学生は1乗車100円とし、利用者拡大を図る。	運賃制度の見直し
4	施設と連携した割引サービス	各区の公共施設等と連携し、路線バスで来場する人に対して「施設利用割引」や「お帰り乗車券」を配るなどお得感を出す。	運賃制度の見直し
5	通学定期券の内容の向上	利用が見込まれる通学定期券について、エリア制定期券など内容の拡充や割引率の見直し等のサービスを充実させる。	運賃制度の見直し
6	通学100円バスの適用路線の拡大	高田駅前から北城町まで高校生の通学時間帯に1乗車100円で運行している路線を拡大する。	運賃制度の見直し
7	公共交通利用ガイド・総合時刻表の作成	市内の鉄道や路線バス等の路線図や運行時刻、運賃、乗り方、企画切符など公共交通に関する全ての情報を1つにまとめ、市民に情報提供する。	分かりやすい情報提供の充実 モビリティ・マネジメントの実施
8	路線別の大文字時刻表の作成	自宅付近の路線図と運行時刻をわかりやすく提供する個別の時刻表を作成し、沿線各戸に配布する。(全ての情報が集約された総合版から探すことが困難な公共交通に不慣れな人のために)	分かりやすい情報提供の充実
9	車両に系統番号の表示	地名等を活用した路線名では、普段、バスを利用しない人にわかりにくいいため、路線図や時刻表に記載している系統番号を車両に大きく表示することで、誰にでも行先がわかるようにする。(バス車両にマグネット式プレートを設置)	乗り継ぎ環境の改善 分かりやすい情報提供の充実
10	バスの時刻表及び停留所等のインターネット検索サイトの登録及び周知	路線バス等の時刻表及び停留所をインターネット検索について、登録済みの検索サイトにおける未登録情報を更新するとともに、登録していない検索サイトへの登録を進める。また、検索サイトの情報(目的地までの移動方法や乗り換え、移動時間、運賃等)や検索サイトの利用方法の周知を図る。	乗り継ぎ環境の改善 分かりやすい情報提供の充実
11	交通拠点における乗継案内の充実	鉄道駅などの交通拠点での乗継負担を軽減するため、モニターや案内看板などに運行情報(運行経路、時刻、遅延情報等)を表示する。	乗り継ぎ環境の改善 分かりやすい情報提供の充実
12	市街地路線図、啓発資料の作成	路線が多く運行している合併前上越市を中心とした市街地路線図や公共交通の利用をすすめる啓発資料を作成し、イベントなどで配布や、ゲートウェイで観光客への周知に活用する。	分かりやすい情報提供の充実 モビリティ・マネジメントの実施
13	高校生や高齢者を対象としたリーフレットの作成	公共交通の利用が多い高校生や高齢者の更なる利用促進を図るため、企画切符などのお得な情報や切符の購入方法、鉄道・バスの乗り方について情報提供するとともに、啓発資料を提供する。	分かりやすい情報提供の充実 モビリティ・マネジメントの実施
14	デマンド運行に対する予約の負担軽減	デマンド運行に対する予約の負担を軽減するため、予約電話番号を自宅の電話機に短縮登録するほか、デマンド予約を代行する医療機関や商業施設、公共施設等の拡充を図る。	予約方法の改善
15	利用促進イベントの実施	バスや鉄道をはじめとする公共交通について、子どもに興味関心を持つ機会を提供するとともに、その保護者などその他市民全体に公共交通が身近な移動手段であることを再認識する機会を提供し公共交通の利用促進を図る。(バスの日フェスタやなおえつ鉄道まつりなど)	モビリティ・マネジメントの実施
16	イベントでの公共交通の利用啓発	イベントへの参加にあたり、公共交通を利用するようホームページやイベントのチラシ、パンフレットに記載し、啓発する。	モビリティ・マネジメントの実施
17	バスの乗り方教室の実施	将来のバス利用者となる子どもたちに対して、乗車マナーを含めたバスの利用方法について実際の路線バスを活用して体験してもらうなど、バスへの理解と周知を図るため、乗り方教室を開催する。	モビリティ・マネジメントの実施

(2) 全市で取り組む利用促進のスケジュール

No	利用促進策	実施内容	実施時期							
			H28		H29		H30		H31	
			上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
1	おでかけフリー定期券	自家用有償旅客運送への適用方法の検討、登録変更手続き		▶	(H29.4実施予定)					
		啓発資料等で周知(No.12関係)		▶		▶		▶		▶
2	1日フリー乗車券の車内販売	車内販売方法の検討	▶							
		1日フリー乗車券と施設利用割引との連携策(No4関係)を検討、施設と調整	▶							
		新たな乗車券の作成		▶	(H29.4実施予定)					
3	小中高生の夏休み特別運賃	新たに対象となる中高生への周知方法検討	▶	(H28.8実施予定)						
		利用実態の把握、集計		▶		▶		▶		▶
4	施設と連携した割引サービス	連携する施設と調整、割引方法検討(No.2関係)	▶	(H29.4実施予定)						
5	通学定期券の内容の向上	内容の検討	▶							▶
		内容が決まり次第、啓発資料等で周知(No.12関係)		▶		▶		▶		▶
6	通学100円バスの適用路線の拡大	適用路線の検討	▶	(H28.10実施予定)						
		啓発資料等で周知(No.12関係)		▶		▶		▶		▶
7	公共交通利用ガイド・総合時刻表の作成	内容検討	▶		▶		▶		▶	
		発行、配布		▶		▶		▶		▶
8	路線別の大文字時刻表の作成	内容検討(各区で取り組む利用促進関連)	▶							▶
		情報提供路線の拡大		▶		▶		▶		▶
9	車両に系統番号の表示(見える化)	マグネット式プレートデザイン、作成	▶	(H28.10実施予定)						
10	バスの時刻表及び停留所等のインターネット検索サイトへの登録及び周知	登録済みの検索サイトの未登録情報の更新、他の検索サイトの情報収集、費用対効果の検討								▶
		登録済みの検索サイトの情報内容や利用方法の周知								▶
11	交通拠点における乗継案内の充実	案内場所、内容、情報提供手段の検討(見直しに合わせ随時実施)	▶							▶
		案内板等の作成、掲示			(H29.4実施予定)					
12	市街地路線図、啓発資料の作成	内容検討	▶		▶		▶		▶	
		発行、配布		▶		▶		▶		▶
13	高校生や高齢者を対象としたリーフレットの作成	内容検討	▶		▶		▶		▶	
		発行、配布		▶		▶		▶		▶
14	デマンド運行に対する予約の負担軽減	(適宜実施)	▶							▶
15	利用促進イベントの実施	内容検討	▶		▶		▶		▶	
		実施		▶		▶		▶		▶
16	イベントでの公共交通の利用啓発	(適宜実施)	▶							▶
17	バスの乗り方教室の実施	(適宜実施)	▶							▶

(3) 各地域で取り組む利用促進

地区名	事業名	事業内容
安塚区	経路及び時刻の再検討	医療機関の休院や小中学生の減少を踏まえ、利用実態に即した経路及び時刻を再検討する。
	公共交通アンケート調査	地域住民を対象とした地域公共交通に関するアンケート調査を実施し、運行内容と利用促進策を検討する。
浦川原区	バス利用のPR	予約型乗合バスの利用方法や路線バス等の割引情報などを総合事務所だよりや防災行政無線放送で周知する。
	聞き取り調査	直江津・浦川原線や予約型乗合バスの利用者、主な利用者層である高齢者を対象に聞き取り調査を行い、運行内容や利用促進策を検討する。
大島区	大島区版公共交通時刻表	市営バスや北越急行の運行時刻が一覧できる時刻表を作成し、大島区内全戸に配布する。
	自由乗降の導入	市営バスへ自由乗降を導入することを検討し、利用者の利便性向上を図る。
	公共交通利用PR	総合事務所だよりを活用して、バス利用の促進を呼びかける。
牧区	宿泊施設との連携	宿泊施設「深山荘」と公共交通の利用を促進するため、連携できる仕組みを指定管理者と協議する。
	小中学校の校外学習での路線バス利用推進	小中学校で実施している校外学習について、市所有のマイクロバスで移動するのではなく、公共交通に慣れ親しむため、路線バスも使用するよう働きかける。
	公共交通の利用の呼び掛け	地区懇談会等を利用し、公共交通の現状説明と利用促進を呼び掛ける。区内イベント等へ参加する際、公共交通の利用を呼び掛ける。
柿崎区	デマンドバスの利用方法の周知	公共交通の利用促進とデマンドバスの利用方法等を総合事務所だよりに記載し、地域住民に周知する。
大潟区	区版公共交通利用ガイド	大潟区から合併前上越市の主要な目的地(基幹病院、商業施設など)への鉄道やバスの利用方法を提供するチラシを作成し全戸へ配布する。
	温浴施設との連携	温浴施設「鵜の浜温泉-人魚館」と公共交通の利用を促進するため、連携できる仕組みを協議する。

地区名	事業名	事業内容
頸城区	公共交通利用PR	交通事業各社が実施する各種割引サービス、特に学生や高齢者などの移動制約者に係る利用促進策の情報を集約し、総合事務所だより・告知放送などにより定期的に情報提供する。
吉川区	公共交通利用PR	区内イベント開催の際や総合事務所だよりを活用して、バス利用の促進を呼びかける。
中郷区	アンケートの実施	全世帯へアンケートを実施し、主に未利用者から利用しない理由から課題を把握し解決策を検討する。また、比較的に利用が多い高齢者に対する利用促進として、地域支えあい事業「すこやかサロン」の参加者に聞き取りを行うなど、生の声を聞き、具体的な解決策を検討する。
	乗合タクシーツアーの開催	乗合タクシーの利用方法が分からない地域住民のために、予約の方法から乗り方等を実際に体験してもらう機会を提供する。
	目的地との協力体制の構築	通院や買い物先などの事業者と、乗合タクシーの利用促進となるような取組を検討し、利用者に還元できるような体制を構築する。 (例: 車体や車内広告を掲示し、広告収入料を利用者に見えるかたちで還元することや、事業者からクーポン等の協賛をいただくなど)
板倉区	バス時刻に合わせた会議開催	板倉区コミュニティプラザで開催する会議等をバス時刻に合わせて開催する。
	バス利用のPRチラシ作成	デマンドバスの利用方法と路線バスの利用促進を掲載したチラシを全世帯に配布する。
	商工会との連携	商工会に、バス利用者に対する買い物割引券の配布を働きかける。
	宿泊施設との連携	宿泊施設「やすらぎ荘」と公共交通の利用を促進するため、連携できる仕組みを協議する。
清里区	バス時刻に合わせた会議開催	総合事務所関係が主催する会議をバス時刻に合わせて開催し、路線バスの利用を呼びかける。
	利用促進会議の組織化	(仮) 清里区公共交通利用促進会議を新たに組織する。路線バスの見直し、再編の実施と利用促進について、定期的に会議を開催する。
三和区	児童生徒を対象とした乗り方教室の実施	小中学生に対するバスの乗り方教室を開催し、公共交通に慣れ親しみ、将来の利用へつなげる。
	予約負担を解消するためのPRチラシの作成	予約負担を解消するため、利用が見込まれる高齢者を対象としてわかりやすい情報提供を行う。
名立区	公共施設との連携	道の駅「うみてらす名立」温浴施設「のろばた館」と公共交通の利用を促進するため、連携できる仕組みを協議する。
	市営バスアンケートの実施	路線の再編にて、市営バスの運行が開始された後、一般利用者や利用児童の保護者、関係学校等へアンケートを実施し、その後の運行における検討に活用する。
	名立区版壁張付用時刻表の作成	名立区の地域住民が見て、分かりやすい、名立区を中心とした内容の壁張付用時刻表を作成し、名立区内全戸に配布する。